

株式会社エクストランス

# X-MON 3.2.2

アップデート内容

## 内容

---

機能追加 .....	3
かんたん監視登録機能.....	3
監視テスト機能 .....	8
X-MON サーバファイル参照機能.....	11
変更箇所 .....	15
Hyper-V 監視 WindowsServer2012R2 対応.....	15
VMware 監視 vSphere6 対応.....	15
SNMP サービス一括作成 サービス ID 初期値設定の追加 .....	16
不具合の修正.....	18
管理者メニュー .....	18
ドキュメント管理.....	18

## 機能追加

### かんたん監視登録機能

簡易な監視設定の登録を一括で行う機能です。

X-MON を初めてお使いのお客様向けの機能となりますが、操作に慣れているお客様にも登録作業の負荷を軽減する機能としてご利用いただけます。

「ホスト管理」に追加された「かんたん監視登録」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the X-MON interface for host management. The page title is 'ホスト一覧' (Host List). There is a search bar and several action buttons: '新規作成' (New), 'かんたん監視登録' (Simple Monitoring Registration), 'ネットワークからホストを検出する' (Detect hosts from network), '削除' (Delete), and '削除と承認' (Delete and Approve). Below the buttons is a table with the following data:

ID	名称	IPアドレス/FQDN	エスケーション設定数
<input type="checkbox"/> X-MON	 X-MON	127.0.0.1	有効: 0, 無効: 0

Below the table are buttons for '詳細表示' (Details), 'サービス設定' (Service Settings), and 'ホストエスケーション設定' (Host Escalation Settings). At the bottom are '削除' (Delete) and '削除と承認' (Delete and Approve) buttons.

以下の画面へ遷移します。



The screenshot shows the X-MON interface for 'かんたん監視登録' (Simple Monitoring Registration). The page title is 'かんたん監視登録'. The breadcrumb trail is '情報の入力 > 監視対象の検出 > 登録情報の確認 > 完了'. There are two main input sections:

- IPアドレス/FQDN**: A text input field with a link below it: [SNMP情報を入力してリソースを監視します](#)
- 障害発生メールの送信先**: A text input field with the instruction 'E-MAILアドレスを入力してください' and a link below it: [障害発生メールを受け取りません](#)

At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and '次へ' (Next) buttons.

「障害発生メールの送信先」へはメールアドレスを入力します。  
その際、すでにユーザが登録されている場合は入力されたメールアドレスと一致するユーザが表示されます。

**障害発生メールの送信先**

E-MAILアドレスを入力してください

ad

**ユーザ**  
管理者 <admin@xxxx.xx>

入力したメールアドレスのユーザを新規作成することも可能です。

監視登録

の入力 > 監視対象の検

IPアドレス/FQDN

SNMP情報を入力してリ

障害発生メールの送信先

E-MAILアドレスを

新たにユーザを登録

new\_address@xxxx.xx

キャンセル → 次へ

**新規登録** ×

ユーザID(英数字) new\_address

E-MAILアドレス new\_address@xxxx.xx

OK キャンセル

情報の入力後「次へ」ボタンを押すと、対象のサーバにて監視可能なサービスを検出し、一覧で表示します。

192.168.10.53  
SNMP情報を入力してリソースを監視します

再スキャン

検出結果

オレンジ色の内容を監視するには情報の入力が必要です

	サービス監視用コマンド	サービスID(英数字)	設定
A	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP監視	HTTP	詳細設定
	<input checked="" type="checkbox"/> PING監視	PING	詳細設定
B	<input checked="" type="checkbox"/> PostgreSQL監視	PostgreSQL	情報を入力して監視する
	<input checked="" type="checkbox"/> RPC監視	RPC	詳細設定
A	<input checked="" type="checkbox"/> SMTP監視	SMTP	詳細設定
	<input checked="" type="checkbox"/> SSH監視	SSH	詳細設定

キャンセル 戻る 次へ

監視の設定は基本的にはデフォルトで入力されていますが、一部ユーザにて入力必要な情報（データベース接続情報など）があります。

- ユーザにて入力必要な情報がないサービス（A）  
⇒ 該当行の背景色が灰色になります。  
「詳細設定」ボタンより監視の設定を変更することができます。
- ユーザにて入力必要な情報があるサービス（B）  
⇒ 該当行の背景色がオレンジになります。  
「情報を入力して監視する」から必要な情報が入力されると、（A）と同様の表示になります。

監視を行う必要のないサービスについては、各行内のチェックボックスのチェックを外してください。

情報の入力が終われば、「次へ」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、問題がなければ「作成と承認」ボタン、内容を変更する場合は「変更する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the X-MON interface for monitoring registration. The breadcrumb trail is: 情報の入力 > 監視対象の検出 > 登録情報の確認 > 完了. The main content area is divided into three sections, each with an '変更する' (Change) button:

- ホストID(英数字)**: HOST\_192.168.10.53
- 監視対象**: A table with columns 'サービス監視用コマンド' and 'サービスID(英数字)'.

サービス監視用コマンド	サービスID(英数字)
HTTP監視	HTTP
PING監視	PING
RPC監視	RPC
SSH監視	SSH
- 障害発生メールの送信先**: A table with columns 'ユーザ名' and 'E-MAILアドレス'.

ユーザ名	E-MAILアドレス
管理者	admin@xxxx.xx
運用責任者	senior@xxxx.xx

At the bottom, there are three buttons: キャンセル (Cancel), 戻る (Back), and 作成と承認 (Create and Approve).

「作成と承認」ボタンをクリックすると、監視設定が登録されます。

「障害発生メールの送信先」に入力されている情報は、該当へのメール通知としてエスカラーション設定に登録されます。

監視設定の登録を終了する場合は「X-MON を再起動して監視を開始する」ボタン、引き続き登録を行う場合は「引き続き別のホストを登録する」ボタンをクリックします。



## 監視テスト機能

サービスの作成・編集画面にて、監視のテスト実行を行う機能です。  
サービス登録前に入力内容の確認を行うことができます。

以下のボタンをクリックすると、その時点で「サービス監視用コマンド」欄に入力されている内容でテスト実行が行われます。

サービスID(英数字)  
PING

サービス監視用コマンド

死活監視

PING監視

ラウンドトリップタイムWARNINGしきい値(平均ms) 300

パケットロス率WARNINGしきい値(%) 30

ラウンドトリップタイムCRITICALしきい値(平均ms) 500

パケットロス率CRITICALしきい値(%) 50

PING送信回数(回) 5

タイムアウト(秒) 10

ボタンをクリックすると、

監視テスト実行

通知先グループ

サービスID(英数字)  
PING

サービス監視用コマンド

死活監視

PING監視

ラウンドトリップタイムWARNINGしきい値(平均ms) 300

パケットロス率WARNINGしきい値(%) 30

ラウンドトリップタイムCRITICALしきい値(平均ms) 500

パケットロス率CRITICALしきい値(%) 50

PING送信回数(回) 5

タイムアウト(秒) 10

監視テスト実行

監視テスト実行結果

状態	ステータス情報
正常(OK)	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.05 ms

通知先グループ

本機能は、下記コマンドでは非対応となります。

非対応のコマンド選択時には「監視テスト実行」ボタンは表示されません。

コマンドグループ	コマンド名称
Hyper-V 監視	Hyper-V ゲストストレージデバイス（エラー）監視
	Hyper-V ゲストストレージデバイス（読み取り/書き込み）監視
	Hyper-V 仮想スイッチ受信量監視
	Hyper-V 仮想スイッチ送信量監視
Linux/Unix 系リソース監視 (SNMPv1,v2 対応)	CPU 監視
	CPU 監視(コア数分割)
	TRAFFIC 監視
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計)
Linux/Unix 系リソース監視 (SNMPv3 対応)	CPU 監視(認証)
	CPU 監視(コア数分割/認証)
	CPU 監視(コア数分割/認証暗号化)
	CPU 監視(認証暗号化)
	TRAFFIC 監視(認証)
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計 認証)
	TRAFFIC 監視(複数インターフェイス合計 認証暗号化)
	TRAFFIC 監視(認証暗号化)
SNMP 監視(v1,v2 対応)	SNMP カウンター値監視(1 軸)
	SNMP カウンター値監視(2 軸)
	SNMP カウンター値監視(3 軸)
SNMP 監視(v3 対応)	SNMP カウンター値監視(1 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(1 軸/認証暗号化)
	SNMP カウンター値監視(2 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(2 軸/認証暗号化)
	SNMP カウンター値監視(3 軸/認証)
	SNMP カウンター値監視(3 軸/認証暗号化)
ログ監視	ログ監視
	NRPE 経由でのログ監視
監視サポートコマンド	ダミープラグイン(ステータスを任意のものに更新)
VMware 監視	VMware 物理 NIC 受信量監視
	VMware 物理 NIC 送信量監視

	VMware 仮想スイッチ受信量監視
	VMware 仮想スイッチ送信量監視
Web サービス監視	Web コンテンツ改ざん監視
	Web コンテンツ改ざん監視(一括監視)
Windows リソース監視	SNMP による WindowsTRAFFIC 監視
	WMI による Windows イベントログ監視
	WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)
	監視プラグイン設定で登録されたコマンド

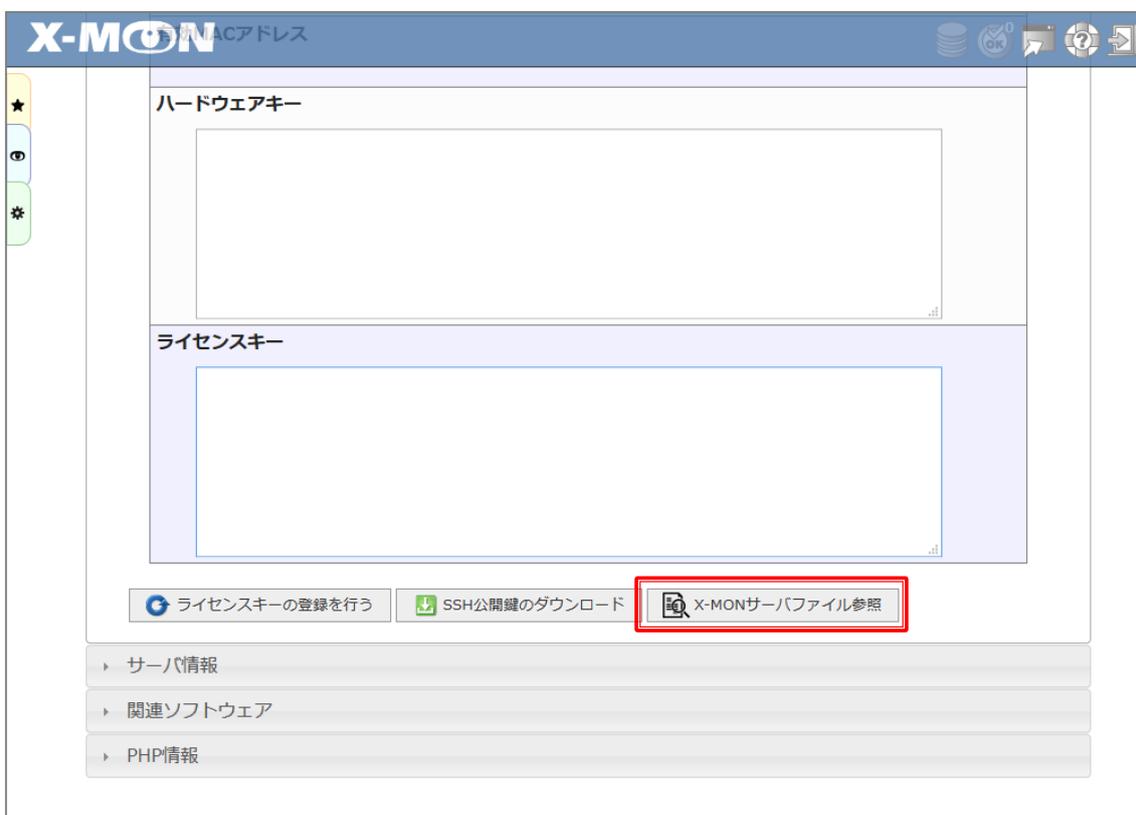
## X-MON サーバファイル参照機能

X-MON サーバ上のファイルを管理画面にて表示、ダウンロードができる機能です。

本機能は以下のユーザ権限のユーザのみ使用可能となります。

- システム管理者
- 運用責任者

システム情報画面に表示される以下のボタンをクリックします。



以下の画面に遷移しますので、取得したいファイルを選択してください。

本バージョンでは、以下のファイルが取得可能となっています。

- X-MON ログ
- TRAP ログ
- ステータスファイル



「ファイル選択」欄のボタンをクリックすると、取得したファイルの一覧が表示されます。

The screenshot shows the X-MON web interface. At the top, there's a navigation bar with the X-MON logo and some icons. Below it, a breadcrumb trail reads 'X-MONサーバファイル参照'. There are three buttons for file selection: 'X-MONログ', 'TRAPログ', and 'ステータスファイル'. Below that is a table titled 'ファイル一覧' (File List). The table has four columns: 'ファイル名称' (File Name), '最終更新日時' (Last Update Time), 'ファイルサイズ' (File Size), and '操作' (Action). The '操作' column contains two buttons: '表示' (View) and 'ダウンロード' (Download). A red box highlights these two buttons for each row in the table.

ファイル名称	最終更新日時	ファイルサイズ	操作
x-mon.log	2016年01月21日 10時17分56秒	4.80 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-21-2016-00.log	2016年01月20日 23時11分09秒	5.46 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-20-2016-00.log	2016年01月19日 23時12分08秒	5.25 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-19-2016-00.log	2016年01月18日 23時46分01秒	2.88 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-18-2016-00.log	2016年01月17日 23時46分01秒	2.88 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-17-2016-00.log	2016年01月16日 23時46分01秒	2.88 KB	表示   ダウンロード
nagios-01-16-2016-00.log	2016年01月15日 23時46分01秒	2.88 KB	表示   ダウンロード

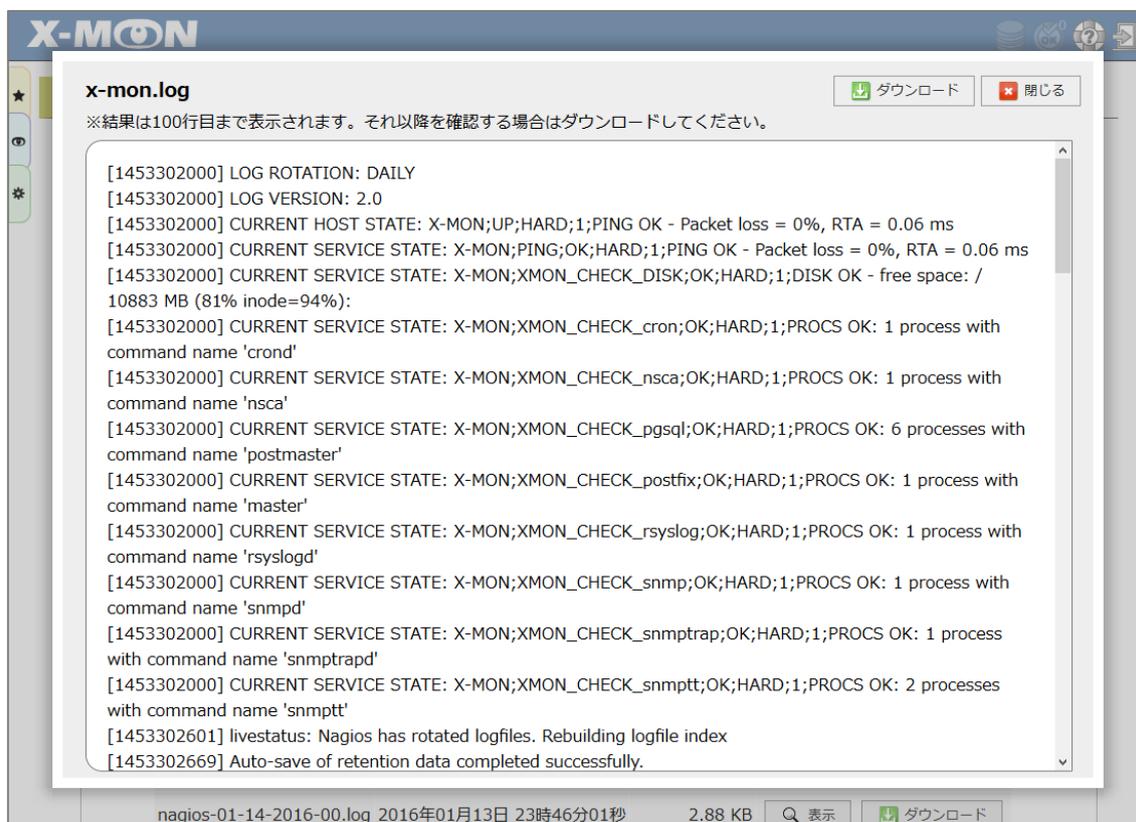
上記の「表示」「ダウンロード」ボタンをクリックすると、該当ファイルの表示とダウンロードができます。

「X-MON ログ」については、ファイル名の日付が実際のログの内容より 1 日多くなりますのでご注意ください。

各「ファイル名称」にマウスオーバーすると、以下のように日付が表示されます。

nagios-01-21-2016-00.log 2016年01月20日 23時11分09秒  
2016年01月20日分のログです。

以下、「表示」ボタンクリック後の画面になります。



表示する行数が大きくなるとサーバへの負荷がかかるため、管理画面での表示は 100 行目までとなっています。

それ以降の確認は、ファイルをダウンロードして行ってください。

## 変更箇所

---

X-MON3.2.2 にて以下の変更が加われました。

### Hyper-V 監視 WindowsServer2012R2 対応

---

WindowsServer2012R2 環境の Hyper-V 監視が可能になりました。

設定の登録方法などは従来と変更ありません。

### VMware 監視 vSphere6 対応

---

vSphere6 環境にて、下記監視プラグインが対応していませんでしたが、本バージョンより監視可能になりました。

- VMware 仮想スイッチ受信量監視
- VMware 仮想スイッチ送信量監視

## SNMP サービス一括作成 サービス ID 初期値設定の追加

SNMP サービス一括作成に、「サービス ID(英数字)初期値設定」項目が追加されました。

The screenshot shows the X-MON interface with a configuration window titled 'サービスID(英数字)初期値設定'. The window contains two radio button options: '○ インタフェース名称 (例: TRAFFIC監視 eth1 index1 → TRAFFIC\_eth1)' and '● インタフェース番号 (例: TRAFFIC監視 eth1 index1 → TRAFFIC\_ifIndex1)'. Below the options are '次へ' and 'キャンセル' buttons.

以下の通り、バージョン 3.2.1 までにあったサービス ID の初期値が空白になるという状態が起こらなくなっています。

- 「インタフェース名称」を選択した場合のサービス ID 初期値
  - ⇒ 監視サービス (TRAFFIC など) の後ろに「\_」+インタフェース名称を付けたもの
  - ⇒ インタフェース名称に含まれるサービス ID に入力不可の文字 (半角英数字および「.」 「-」 「\_」以外) は「\_」に置き換えられる

The screenshot shows a table titled 'TRAFFIC監視' with a 'サービス選択' section. The table has columns for checkboxes, interface names, service IDs, and received traffic. A red box highlights the rows for PP[01], PP[02], and PP[03]. A callout box points to the service ID field for PP[01], stating that non-allowed characters are replaced with underscores.

<input type="checkbox"/>		サービスID(英数字)	受信トラフィック
<input type="checkbox"/>	LAN1	TRAFFIC_LAN1	2354366549
<input type="checkbox"/>	LAN2	TRAFFIC_LAN2	161880
<input type="checkbox"/>	LAN3	TRAFFIC_LAN3	
<input type="checkbox"/>	BRI1	TRAFFIC_BRI1	
<input type="checkbox"/>	PP[01]	TRAFFIC_PP_01	0
<input type="checkbox"/>	PP[02]	TRAFFIC_PP_02	0
<input type="checkbox"/>	PP[03]	TRAFFIC_PP_03	0

- 「インタフェース番号」を選択した場合のサービス ID 初期値
  - ⇒ 監視サービス (TRAFFIC など) の後ろに「\_ifIndex」+インタフェース番号を付けたもの

TRAFFIC監視			
サービス選択			
<input type="checkbox"/>			インタフェース番号のため、入力不可の文字が入ることはなし。
<input type="checkbox"/>	LAN1	TRAFFIC_ifIndex1	2354553320
<input type="checkbox"/>	LAN2	TRAFFIC_ifIndex2	161880
<input type="checkbox"/>	LAN3	TRAFFIC_ifIndex3	150842573
<input type="checkbox"/>	BRI1	TRAFFIC_ifIndex4	0
<input type="checkbox"/>	PP[01]	TRAFFIC_ifIndex5	0
<input type="checkbox"/>	PP[02]	TRAFFIC_ifIndex6	0
<input type="checkbox"/>	PP[03]	TRAFFIC_ifIndex7	0

- 参考：バージョン 3.2.1 以前のサービス ID 初期値
  - ⇒ 監視サービス (TRAFFIC など) の後ろに「\_」+インタフェース名称を付けたもの
  - ⇒ インタフェース名称にサービス ID に入力不可の文字が入力された場合、空白になる

TRAFFIC監視			
サービス選択			
<input type="checkbox"/>		サービスID(英数字)	受信トラフィック
<input type="checkbox"/>	LAN1	TRAFFIC_LAN1	2353832775
<input type="checkbox"/>	LAN2	TRAFFIC_LAN2	161880
<input type="checkbox"/>	LAN3	TRAFFIC_LAN3	
<input type="checkbox"/>	BRI1	TRAFFIC_BRI1	
<input type="checkbox"/>	PP[01]		0
<input type="checkbox"/>	PP[02]		0
<input type="checkbox"/>	PP[03]		0

入力不可の文字が入ると空白になる。

## 不具合の修正

---

### 管理者メニュー

---

#### ドキュメント管理

---

- Microsoft Edge にてファイルをダウンロードした際にファイル名が誤った形で出力される不具合  
⇒ 他ブラウザと同様のファイル名となるよう修正